

目標達成計画

作成日：平成 23 年2 月28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・開設7年になるが、近隣の方にグループホームへの理解が得られているかどうか？ 町内の方とももっと積極的に交流できれば今まで以上に地域活動にも参加しやすくなり災害時等、協力も得ることができるのでは？	『高齢者の介護』『認知症サポーター講座』の開催をし、町内の方に呼びかけをする。又、講座を継続的に開催するよう努める	講師の要請、手配 推進会議にて自治会長や班長の協力を要請する(回覧等)	6ヶ月
2		無断外出や事故防止の為、アーケードを施錠しているが施錠していることで不具合を生じている。(面会者が開錠方法が分からない、雨天時等)	施錠時間を短くする	雨天は開錠 早番帰宅時から最終遅番まで開錠 入浴時等、職員が手薄な時以外は開錠するように努める	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。